



# 「緑のカーテン」でつながる、 人と学びと地球に優しい暮らし方

～株式会社タニタハウジングウェア

「緑のカーテン」とは、アサガオやヘチマ、にがうりなど、つる性の植物でつくる自然のカーテンのことです。暑い夏でも快適に過ごすことができ、地球温暖化防止にもつながることから、一般家庭だけではなく学校や公共の建物などでも広がっています。板橋区立高島第五小学校では、「緑のカーテン」の栽培を担当する6年生が「緑のカーテン」と地球環境について学ぶ授業を実施しています。今回は、雨と水利用を促進する商品の製造、販売を行っている株式会社タニタハウジングウェアの協力で行われた授業の様子を紹介します。

## 「雨水は、流せば洪水、溜めれば資源」

「雨が好きな人は」という谷田さんの問いから、今回の授業が始まりました。あまり手が挙がりません。嫌いな理由は「濡れるから」「遊べないから」。「では、『緑のカーテン』の気持ちになると、雨は好きかな」。今度はかなり多くの手が挙りました。今回の授業には、株式会社タニタハウジングウェアから谷田さんと、大西さんが来てくれました。

ペットボトルを使った雲をつくる実験の後に、雨水について学びます。大地に降り注ぎ、すべての命を潤す雨。東京都で使っている水の量よりも多い量の雨が、東京都に降っています。



この雨を使わないともったいない、と「緑のカーテン」の世話をしている6年生は気づきます。成長期のヘチマは、一日に10リットルの水が必要とも言われています。「緑のカーテン」を作るために水道の使用量が倍になったのでは、地球に優しくありません。雨水を溜めることで河川の氾濫を抑える取組みや、世界各地で雨水利用を進めている方の活動について紹介したビデオを見ながら、子供たちは何ができるか考え始めました。



そして、雨水と水道水とでは、どちらが粉石けんがよく泡立つか、という実験をしました。青と赤のシールのついたペットボトルに同じ量の粉石けんを入れて、同じ秒数振りまします。すると、青と赤で泡立ちの違いがかなり出たので、これには子どもたちも驚きました。雨水は不純物が少ない軟水なので、とてもよく泡立ちます。

雨水は工夫次第で様々な利用ができることを、今回の授業で学びました。

## 株式会社タニタハウジングウェア代表取締役社長の谷田泰さんにお話を伺いました

雨といのルーツは奈良時代。当時は建物を守るためではなく、屋根に降った雨を集めるために取り付けられました。上下水道が普及した都市社会では、雨とかかわる機会が少なくなりました。「緑のカーテン」の学習は子供たちに本来の自然とのつながりをよみがえらせます。雨もその一つ。「緑のカーテン」の成長にとって大切なものだとわかった瞬間から、雨の日も楽しみになります。そんな感性を持った子供たちに次世代を担ってほしいですね。

板橋区立高島第五小学校では、雨水利用の他にも、様々な分野から「緑のカーテン」の授業でゲストティーチャーが協力しています。下記の「夏を涼しく過ごす」の他、昨年度に引き続き、「土について学ぶ」「土で描く」「地球温暖化」などのテーマの授業も実施しています。「緑のカーテン」の成長日記や、授業の様子については高島第五小学校のホームページをご覧ください。  
<http://www.ita.ed.jp/edu/taka5es/index.htm>

板橋区立高島第五小学校では、雨水利用の他にも、様々な分野から「緑のカーテン」の授業でゲストティーチャーが協力しています。下記の「夏を涼しく過ごす」の他、昨年度に引き続き、「土について学ぶ」「土で描く」「地球温暖化」などのテーマの授業も実施しています。

「緑のカーテン」の成長日記や、授業の様子については高島第五小学校のホームページをご覧ください。  
<http://www.ita.ed.jp/edu/taka5es/index.htm>



### ● 夏を涼しく過ごす ●

ゲストティーチャー：宿谷昌則教授(武蔵工業大学)

天井や床、手のひらなどの温度を放射温度計を使って測定してみると、場所によって温度が違うこと、人間の熱が高いことがわかります。人間が快適に生活するためには、この発している熱をどのように逃がすかを知ることが大切です。

熱を逃がす方法には、放射、対流、伝導、そして、蒸発があります。濡らしたハンカチを何度か振る実験では、あっという間に表面温度が下がりました。植物は、水をたくさん吸い上げて、葉の裏の気孔から蒸発させることで、枯れないように自分の体を守っています。

緑や収穫を楽しみながら、きちんと水遣りなどの手入れをして、人と植物がもちつもたれつ、という「共生」の社会が大切です。



株式会社タニタハウジングウェアも所属するNPO「緑のカーテン応援団」HPでは、「緑のカーテン」についての様々な情報を掲載しています。緑のカーテン応援団HP <http://www.midorinoka-ten.com/index.html>